

製品名: PMS2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab00008**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | ウサギポリクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,IHC,ICC/IF,FC,IP |
| 反応性 | 人間 |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | ポリクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | リン酸緩衝生理食塩水中のウサギ IgG、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%アジ化ナトリウムおよび50%グリセロール。 |
| 精製 | アフィニティークロマトグラフィー |

応用

| | |
|------|---|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,FC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50 |
| 分子量 | Calculated MW: 96 kDa; Observed MW: 110 kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|--|
| 遺伝子名 | PMS2 |
| 別名 | DNA mismatch repair gene; DNA mismatch repair protein PMS2; HNPCC4; PMS1 protein homolog 2 |
| 遺伝子 ID | 5395 |
| SwissProt ID | P54278 |
| 免疫原 | ヒト PMS2 の合成ペプチド |

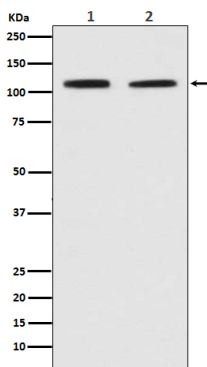
背景

RFC および PCNA 存在下での MutL-MutS ヘテロ二本鎖三元複合体の形成は、PMS2 のエンドヌクレアーゼ活性を活性化するのに十分である。これによりミスマッチ近傍に一本鎖切断が生じ、エキソヌクレアーゼ EXO1 がミスマッチを含む鎖を分解するための新たなエントリーポイントが形成される。DNA メチル化は切断を阻害するため、新たに変異した DNA 鎖のみが修正されることが保証される。

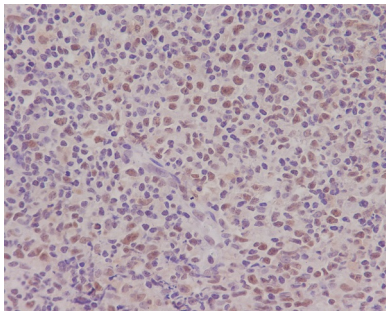
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



(1) Jurkat 溶解物、(2) HeLa 溶解物中の PMS2 抗体を用いたウェスタンブロット分析。



PMS2 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。